

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	2	職員の配置数は適切であるか	0	5		日によって勤務の休み希望が重なる日等不十分な日もあるが、2階の生活介護職員と協力体制を組み、入浴介助等必要時協力しあっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			職員参加のミーティングにて業務の振返りを行っている。時間帯の工夫により、広く職員が参加する機会を作っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			今回で2回目の実施。アンケート調査により保護者の意見、要望等把握し、職員間で共有することが出来ている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			使用する場合としない場合が有。(細かい分析を要する場合、既存のものではしにくい)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			前の月に週単位で季節に応じた翌月の活動プログラムをチームで検討して決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			週単位で様々な活動プログラムを提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			平日は短時間で活動できるプログラム、長期休暇等は時間をかけて活動できるプログラムを設定する等工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			計画として個別と集団を分けていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			支援開始前に、勤務している職員でミーティングを実施し、業務の内容や活動内容、動きの流れ等確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5		業務終了時間が常勤職員と非常勤職員で異なる為、開始前のミーティングで前日の支援の振り返りも兼ねている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			つなげている。記録として、連絡帳もコピーし、保存して残している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			併せて日々の支援の中での気付きや変化等、毎日のミーティングで共有、記録している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校より個別に月ごとの下校時刻予定表をもらい、利用の都度確認すると共に、急遽の変更等あれば直接保護者、学校とのやりとりを行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			緊急時の連絡、対応は基本的に保護者に確認してからすることとしているが状態によっては即救急搬送が必要な場合もあるため、その際は連絡体制について事前に個別に確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			必要に応じて実施。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3		同一事業所内で、他利用者様(生活介護事業所)との交流を行っているが、今後の課題である。現在、保護者様からの要望としてはない状況。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4		全国重症児デイサービスネットワークに加入し、随時研修や会議等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時等保護者と顔を合わせる際は必ず、日頃の状況を伝え、話す機会を持っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		保護者を指導するような立場での支援を行っていないため、レスパイトケアに重点をおいて支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者から要望がある際には相談機会を作り、必要に応じて他支援機関につなぐ等、連絡調整も行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		企画していたが、予定調整できず未実施。今後、内容を検討し実施する方向で考えたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		必要に応じて苦情解決委員会にて手続きを踏み、速やかに解決するよう取り組んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		月ごとに活動予定を作成し、個別に配布、お知らせしている。また、連絡事項については個別に連絡帳に記載している。施設全体として、広報誌を作成し、配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5		名前等個人情報が記載された書類を破棄する場合は全てシュレッダー処理をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		年1回、地域住民を招待するお祭りを開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		周知方法について検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		年2回、災害を想定した避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		施設で研修を開催している。外部の研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		バギー上で姿勢保持のためベルトを装着する場合、入浴時の転落防止の為にストレッチャー上で安全ベルトを使用する場合等、事前に保護者への説明を行い、同意を得た上で放課後等デイサービス計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		食事提供は行っていない。アレルギーについては保護者からのアセスメントにて確認。対応はその都度必要時行っている。(医師による指示書対応が必要な児童はいない。)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		その都度事例について共有し再発防止に努めている。